

平成20年度 目黒区立第十中学校 学校評価のまとめ

評価項目・指標	自己評価	学校評価委員会の意見
学校教育への満足度 ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度等	・授業改善と学習環境の整備に力を入れている。それが高く評価されている。	・生徒、保護者の肯定的評価が90%を超えているので、大変いい状況だと思う。これを維持して欲しい。
教育課程 ・教育目標、教育課程の編成や実施の状況等	・教育目標は、実情に見合った適切なものだと考えている。	・生徒の4割近くが教育目標をよく理解していないので、改善すべきである。
学習指導・進路指導 ・授業時数の量的拡大 授業の改善・充実 学力の定着・向上 （職場体験の実施）等	・指導法の改善は行っているが、生徒に充分には伝わっていないので、更に改善する。 ・授業規律の改善は更に努力を要すると考えている。	・授業規律やけじめのある雰囲気については3割の生徒が否定的な評価をしているので、教師にとっても反省が必要である。
生活指導 ・いじめや不登校の現状と対応、安全指導等	・不登校生徒への対応に力をつけている。 ・教育相談体制を確立できた。	・ルールとマナーに関して、85.6%の生徒が肯定的に評価していることは、大変いい状況だと思う。
心の教育 ・道徳の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力等	・道徳の授業の改善は、教師にとってとても大きな課題である。	・思いやりのある生徒の育成は図られているが、道徳の授業の改善は更に進めなくてはならない。
健康促進・体力向上 ・運動の機会の充実、食育や家庭への啓発等	・保護者の81%は肯定的な評価をしているが、もう少し積極的な取り組みの必要性を感じている。	・体力の向上や健康の促進に関して保護者の13.7%の否定的な評価があるので、更に進めて欲しい。
特別活動 ・学校行事の充実、クラブ・部活動の活性化等	・学校行事や部活動の活性化には力を入れている。8割以上の生徒が満足している状況を維持したい。	・行事や部活に対して、88.5%の保護者が肯定的に評価しているのでこれを続けて欲しい。
保護者や地域との連携 ・学校の情報発信や学校・地域との協働体制の整備等	・学校との協力に関して、保護者の22.8%が十分ではないと考えているので、改善したい。 ・「あいさつ運動」の定着を図る。	・地域の意見は、80.0%が肯定的評価で、20.0%が否定的な評価であった。 ・さらに連携を学校の方から求めていって欲しい。